



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 パレックス202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2009年9月号

## 8月30日、日本の政治が生まれ変わった

2009年8月30日、日本の政治に新たな1ページが加わった。長年民主党が主張し続けてきた“政権交代”が実現したのだ。麻生首相（当時）のおかげで、昨年秋に行われるはずだった総選挙は大いに待たされてしまった。しかし、待った甲斐があった。もし、昨年秋に衆議院が解散されていたら、今回のように民主党が大勝利を収めていなかったのではないかと想像できるからだ。

今回の総選挙は、**民主党への追い風と自民党への逆風が同時に吹き荒れた結果**である。いわば、民主党の勝利でもあり、自民党の敗北でもある。自民党は過去55年にわたり、政治の中枢を担ってきた。自民党は官僚たちや企業と力を合わせ、戦後の高度経済成長を牽引し、オイルショックを乗り越え、日本をアメリカに次ぐ世界第2位の経済大国に押し上げた。このことは素直に認めるべきである。

しかし、バブル経済後、自民党は過去の成功体験にこだわり続け、客観性を失い、国民の価値観の多様化と生活の変化、グローバル化の進展、少子化・高齢化などの**社会環境の変化についていけずに国民から置いてきぼりをくってしまった**のではないだろうか。それに加え、安倍、福田と2代続けて政権を投げ出し、麻生首相も上から目線のまま失言を繰り返した。こんな自民党には任せられないと国民が自民党に愛想をつかしたくなった時、ふっとみると選択肢としての民主党がいた。民主党は野党暮らしの中で徐々に力をつけてきたと思えるまでに成長してきた。その時、国民は、民主国家では政権交代は当たり前であることを知り、**一度民主党に任せてみようかと考えるようになったのだろう。**

**私たち民主党は、308もの議席を与えられ、与党としての責任を感じつつ国政に取り組みなければならない。**民主党議員のほとんどは与党経験がない。また、新人の143人は国会議員の経験すらない。即戦力となり得る新人議員もいることはいるが、心許ないと感じている国民は多いはずだ。新人が多いので大目に見てくれとは言えない。

ただ、一つだけ、皆さんに理解しておいてもらいたいことがある。それは、政権公約（マニフェスト）に掲げた全ての政策が一夜で実行できることは考えないで欲しいことだ。物事には順番があるし、時間がかかることとそうでないことがある。

例えば、これまで50年以上にわたり、貯まってきた膿を僅か1年や2年で出し切ることはできない。07年に民主党が参議院で第一党になり、官僚のムダ遣いが明らかになり始めたが、それはほんの一部である。ムダ遣いの全貌を明らかにするには相当の時間と労力がかかる。

私は個人的には次の総選挙は4年後の任期満了頃まで続けるべきだと思っている。少しでも民主党政権を長く維持したいからではない。**4年間に実行することを約束したマニフェストに掲げた政策を実現して、民主党に政権担当能力があることを示すとともに政策の実行によって国民生活を安定させたい**と考えているからである。1年や2年で効果が見えなくとも、皆さんには少し辛抱して見守って欲しいと思う。**必ず、私たちはマニフェストに掲げた政策をやりきる覚悟と自信があることを信じてもらいたい。**

## ～藤本ゆうじの自分史～ その2

私は浜松市上島（かみじま）で生まれた。浜松市営球場のすぐそばである。私は2歳くらいまで浜松に住んでいたようだ。ただ、ほとんど記憶はなく、当時のことは写真で知る程度だ。写真と一緒に写っている方、つまり私が赤ちゃんの時に面倒を見てくれた方が今は島田市川根町に住んでいる。鈴木アキ子さんと言う方だが、私が参議院議員選挙に立候補した際、なんと50年ぶりにお会いできた時はとても感激した。

母親も浜松生まれである。元城に住んでいたが、戦時中は現浜松市雄踏町宇布見（うぶみ）に疎開していたらしい。浜松で空襲に遭い、家を失ったと聞いている。浜松には父方と母方の双方の親戚が住んでいる上、母親の同級生の方々もご健在で私を支援してくださり、たいへんありがたい。母方の先祖の墓は白羽という場所にある。その墓に眠る母方の祖母とは、私が生まれた時から亡くなるまで約25年間一緒に暮らしてきた。そんなこともあり、私は浜松に特別な愛着がある。

聞いた話だが、私が浜松に住んでいた時、脱水症でたいへんだったらしい。私がひどく下痢をしたため、水分を飲ませると余計に下痢がひどくなると家族が勘違いをしてしまい、水分を控えたことが原因だったようだ。その時、父親は伊豆に出張していた。私は後でこのエピソードを聞いて父親に冗談で「子どもよりも仕事の方が大事だったみたいだ」と意地悪く言ったことを覚えている。

その後、私たち家族は磐田市に引っ越した。父親は当時の岩田村の匂坂中（現磐田市）の生まれだ。今でも藤本家代々の墓は匂坂中にある。私も東京で就職するまで本籍は磐田市匂坂中だった。高校生くらいまで父親に連れられてお墓参りに時々来たので、選挙中に街宣車が回った時懐かしさを感じた。今も磐田には叔父をはじめ、知り合いが住んでいる。なんとも心強い。磐田に住んで1年足らずのうち、静岡県庁に勤めていた父親の仕事の関係で、次は静岡市に引っ越した。（つづく）

### <藤本ゆうじの活動紹介>

■藤本ゆうじのホームページにアクセスしてください。 <http://www.fujimoto-yuji.org/>

■メールマガジンに登録してください。

\* ホームページの内容や毎月発行している民主号外など藤本祐司の活動をメールマガジンで配信しています。藤本祐司のホームページから簡単に登録できます。

■民主党参議院議員藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティックス」

\* 8月は総選挙期間と放送日が重なったため、9月に2回放送します。**9月11日（金）と25日（金）**です。政権交代した後の民主党の話や生活に直結した政策の話など。みなさまからの疑問や質問にもお答えします。18：30～19：00（FM・Hi 76.9MHz）です。

### <藤本ゆうじ事務所移転のお知らせ>

9月17日（木）、藤本ゆうじの静岡事務所を移転します。旧事務所から徒歩1分ほどの場所です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

（新）静岡事務所 〒422-8067 静岡市駿河区南町6-16 パレ・ルネッサンス202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993 ※電話とFAXの番号は変わりません。